



2022年4月26日
朝日生命保険相互会社

世界銀行が発行する
「サステナブル・ディベロップメント・ボンド」への投資について

～途上国への気候変動対策の更なる拡大を本邦生命保険会社が共同で後押し～

朝日生命保険相互会社（社長：木村博紀、以下「当社」）は、世界銀行（正式名称：国際復興開発銀行（IBRD）、ムーディーズ:Aaa、スタンダード&プアーズ:AAA）が発行する「サステナブル・ディベロップメント・ボンド」（以下「本債券」）への投資を行いましたのでお知らせします。

<本債券への投資の背景>

2021年11月に開催された国連気候変動枠組条約第26回締約国会議（以下、「COP26」）が採択したグラスゴー気候合意では、2020年までに年間1,000億米ドルを共同で動員するという先進締約国の目標がまだ達成されていないことに深い憂慮が表明され、1,000億米ドルの実施目標を早急に、かつ2025年までに完全に達成することを先進締約国に強く求めました。日本政府は、2021年から2025年までの5年間において、官民合わせて6.5兆円相当の気候変動に関する支援を既に発表していましたが、COP26において新たに5年間で官民合わせて最大100億ドルの追加支援の用意を表明しました。

本件は、日本の生命保険会社が気候変動対策の緊急性を改めて世界に提起する共同投資となります。サステナブル・ディベロップメント・ボンドは世界銀行の「気候変動行動計画」と、途上国の気候変動対策における「経済全体へのアプローチ」を後押しします。これまでのグリーンプロジェクトだけではなく、より広範な分野のプロジェクトでの気候変動対策強化へも支援を拡大しています。

【債券概要】

発行体名称	国際復興開発銀行（IBRD）
発行形式	サステナブル・ディベロップメント・ボンド
投資金額	55 百万豪ドル（約 51 億円）
償還期間	8 年
主幹事	Citigroup Global Markets Limited
対応する持続可能な 開発目標（SDGs）	

当社は、中期経営計画「Advance ～The road to 2030～」で持続可能な社会の実現に貢献し、社会への責任を果たしていくことを目指しており、今後も ESG 投融資を一層推進してまいります。

<世界銀行について>

世界銀行（国際復興開発銀行、通称 IBRD : International Bank for Reconstruction and Development）は、1944 年に設立が合意されました。世界銀行グループの中で最初に設立された国際開発金融機関で、現在 189 の加盟国が出資し運営しています。極度の貧困の撲滅と繁栄の共有促進という目標の達成と持続可能な開発目標（SDGs）を支援するために、世界銀行は中所得国及び信用力のある低所得国に対し、融資・保証、リスク管理サービスに加え、開発に関わる様々な分野の専門的な分析・助言サービスを提供しています。また、地域及び世界規模の開発課題への取組みを主導する役割も果たしています。世界銀行は持続可能な開発プロジェクト及びプログラムへの融資資金を調達するために、70 年以上にわたり国際資本市場で債券（世銀債）を発行しています。詳しくは、世界銀行財務局ウェブサイトをご覧ください。

世銀債は、開発プロジェクトやプログラムへの融資を通じて持続可能な開発目標（SDGs）の達成を促進しています。すべての世銀債は IBRD の支援対象となる加盟国で展開する環境と社会の両方に配慮した持続可能な開発プロジェクトやプログラムへの融資を支えており、国際資本市場協会（ICMA）によるサステナビリティボンド・ガイドラインと整合しています。詳しくは、世界銀行サステナブル・ディベロップメント・ボンドフレームワークに掲載されています。世界銀行は、グリーンボンドおよびソーシャルボンド原則の執行委員会のメンバーでもあります。世界銀行は、持続可能な開発において民間セクターの資金の重要性を促進するため

に、投資家との戦略的パートナーシップを構築することを資本市場における重要な優先事項としています。世界銀行インパクトレポートは、世界銀行の開発支援活動がどのように持続可能な開発目標（SDGs）に寄与し、特定の開発課題に対してどのように投資家と関わりながら人々の認識を高めているのかについて説明しています。

ディスクレーマー

本世銀債の発行により調達した資金は、特定のプロジェクトやプログラムへの融資に直接割り当てられることはありません。世銀債の元利金の支払いは、世界銀行の信用力に基づき行われるため、投資家は個々の融資プロジェクトやプログラムのリスクを負う事はありません。

世界銀行のサステナブル・ディベロップメント・ボンドは、世界銀行が開発途上国のために取り組む農業・食料安全保障、教育、エネルギー、金融、貿易・産業、保健、行政・インフラ・ガバナンス、水・公衆衛生、環境、ジェンダー平等などの幅広い分野の開発プロジェクトを支えるために国際資本市場で発行されます。世界銀行のすべての開発プロジェクトは、極度の貧困撲滅と繁栄の共有促進という世界銀行の2大目標に従い、環境と社会に良いインパクトと成果をもたらすように設計されています。この2つの目標は、国連の「持続可能な開発目標（SDGs）」とも連携しています。

以 上